

お客様各位

2016年5月12日  
ジェイサート株式会社

一部有力他社認証局に対する証明書発行プロセス  
の「監視」強化措置(Certificate Transparency)につきまして

昨年10月、Googleが同社ブラウザChrome上において、過去重大な誤発行を犯した一部有力他社認証局の証明書発行プロセスの透明化を高める目的で、現状EV証明書に限った発行要件(スターフィールドEV SSLは実装済)であるCertificate Transparencyなる仕様を、**2016年6月1日以降、当該一部有力他社認証局が発行するDV(ドメイン認証)証明書およびOV(組織認証)証明書にも実装することを義務化する旨のアナウンス**がなされております。

<https://security.googleblog.com/2015/10/sustaining-digital-certificate-security.html>

Certificate Transparencyとは、本来、信頼の源(トラストアンカー)として、証明書提供先に「なりすまし」がないかの身元確認を、標準化された業界ポリシー(CA Browser Forum <https://cabforum.org/> Baseline Requirement)に照らし厳格に実施することが求められている認証局をも、**証明書発行プロセスをリアルタイムでGoogle含む複数の善意の第三者による監視下におくこと**で、SSL/TLS証明書サービスの信頼性を更に高めることを意図した仕組みです。

<https://translate.google.co.jp/translate?hl=ja&sl=en&u=https://www.certificate-transparency.org/&prev=search>

前述の通り、Certificate Transparencyは、現在、最高の信頼性を提供することを意図したEV証明書に限り要件化されたばかり(2016年1月1日以降)であり、DV証明書やOV証明書への実装は業界(CA Browser Forum)として準備中の段階で、**スターフィールドSSL含む当該一部有力他社認証局以外の認証局は、Googleによる2016年6月1日以降の義務化対象とはなっていません。**

さはさりながら、スターフィールドSSLでは、Certificate Transparencyそのものは、SSL/TLS証明書サービスに更なる信頼性を付加する仕組みであり、証明書の種類を問わず実装されるべき、と考えておりますので、お客様環境でのEV証明書での実装結



果を踏まえ、出来るだけ早期に DV 証明書(スタンダード SSL)および OV 証明書(デラックス SSL)にも実装を進めていく予定です。

以上